

# 活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和5年 1月		令和5年 2月		令和5年 3月	
日 曜	活動予定	日 曜	活動予定	日 曜	活動予定
1 日	元日	1 水	共済制度等推進委員会	1 水	
2 月	振替休日	2 木		2 木	
3 火		3 金	帯広支部新年交礼会	3 金	
4 水		4 土		4 土	
5 木		5 日		5 日	
6 金		6 月		6 月	
7 土		7 火		7 火	
8 日		8 水		8 水	
9 月	成人の日	9 木	正副会長会 システム委員会	9 木	
10 火		10 金	資産活用委員会 積水部会推進会議	10 金	
11 水	FX4プレミアムセミナー 北医研修会	11 土	建国記念の日	11 土	
12 木		12 日		12 日	
13 金		13 月		13 月	
14 土	ニューメンバーズ・サービス委員会 会員増強プロジェクト会議 ニューメンバーズウィンターセミナー	14 火	企業防衛正副委員長会議	14 火	
15 日		15 水		15 水	
16 月	正副会長会 釧路支部例会	16 木		16 木	
17 火		17 金		17 金	
18 水		18 土		18 土	
19 木		19 日		19 日	
20 金		20 月		20 月	
21 土		21 火		21 火	春分の日
22 日		22 水		22 水	
23 月		23 木	天皇誕生日	23 木	資産対策研究会
24 火	北海道会理事会 新春講演会・新年交礼会	24 金		24 金	
25 水		25 土		25 土	
26 木		26 日		26 日	
27 金	農業経営研究会研修会	27 月		27 月	
28 土		28 火		28 火	
29 日				29 水	
30 月				30 木	
31 火				31 金	

※新型コロナウイルス対策のため、予定は変更となる可能性があります。

# TKC北海道

かいほう

2023.1.1  
第248号



Chance, Change and Challenge  
TKC HOKKAIDO

## TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階  
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622  
http://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/田中 裕之 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



## CONTENTS

●新年のごあいさつ 会長 田中 裕之…………… 02 副会長 小中 昌幸…………… 03	●遠軽信用金庫向け研修会 決算書の信頼性の見極め方… 21
●ニューメンバーズフォーラム ニューメンバーズフォーラム 1日目…………… 05 ニューメンバーズフォーラム 2日目…………… 07 事務所見学会に参加して…………… 09	●支部例会・研修会だより…………… 22
●トップ対談開催報告 旭川信用金庫×TKC北海道会… 10	●令和4年書面添付実践件数…………… 26
●巡回監査・事務所経営委員会主催 プレミアムセミナー…………… 12	●札幌西支部・苫小牧支部合同研修旅行…………… 28
●リレーエッセイ「時・空・人」…………… 14	●大和部会 宮城山形研修旅行記…………… 30
●中小機構北海道本部インフォメーション…………… 16	●あの方は今…………… 34
●道内金融機関MIS対応状況一覧表…………… 17	●帰ってきた けんたの業務日誌…………… 35
●モニタリング情報サービスNEWS…………… 18	●北海道会 会務動向…………… 36
●早期経営改善計画策定支援NEWS…………… 20	●新入会員…………… 37
	●編集後記…………… 37
	●活動予定カレンダー…………… 38
	<b>eひと・eはなし</b>
	TKC北海道SCGサービスセンター
	センター長/新垣 全…………… 11

## 新年のごあいさつ

### 未来に挑戦するTKC北海道会

TKC北海道会 会長 田中 裕之

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍で迎える新年も3回目となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症による活動制限も緩和され経済活動の活発化による持ち直しの兆しが見えたものの、長期化するロシアのウクライナ侵攻や円安を起因とする物価高騰などによって今後の経済を取り巻く環境は不透明であり、下振れリスクを含んだ状況です。

そのような状況の中、多くの中小企業はますます厳しい経営を強いられることが予想されます。そのため経営者は経営計画の策定と正確な月次決算に基づくモニタリングを徹底し黒字を確保する努力をしなければ、事業継続が困難となる企業も増加するでしょう。実際データでは大型倒産は少ないものの倒産件数は着実に増加傾向を示しています。

加えて今年は、いよいよ10月よりインボイス制度がスタートします。とりわけ本則課税事業者における実務対応においては事務負担が増加しますから、自計化を前提に細かな関与先指導を徹底しなければ相当の混乱が予想されます。

また、新聞報道によると金融庁は、今年4月から経営者個人が負う経営者保証を事実上制限する方針のようです。金融機関は保証の必要性など具体的な理由を説明しないかぎり、経営者保証を要求できなくなるというものです。この金融庁の方針は、金融機関はもちろんわれわれにも大きな影響を与えます。経営者保証を解除するための関与先指導



が会計事務所に求められ、その取り組みいかんによっては事務所の良否の評価に直結する可能性があるからです。

昨年TKC全国会は新たな運動方針を示しました。「未来に挑戦するTKC会計人:翌月巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう」です。すべてのTKC会員がTKC方式の自計化を前提に翌月巡回監査を断行し、関与先の黒字決算と適正申告を支援していくことで社会の期待に応えていく。それによって税理士の社会的地位向上を実現していくという強力なメッセージです。先に述べた通り、多くの課題を抱える経営環境で税理士に対する社会からの期待は高まる一方です。幸いわれわれTKC会員には、期待に応えるために必要な道具はすべてそろっています。あとは実践できるかどうかです。TKC会員一丸となって、全国

会運動を推進していきましょう。

TKC北海道会としては、翌月巡回監査率の向上とTKC方式の自計化推進をはじめ、書面添付の実践や継続MASを活用した経営助言など関与先の黒字決算と適正申告を支援するための体制をすべてのTKC会員事務所に構築できるよう活動

して参りますので是非ともご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年一年が皆さまにとりまして更なる飛躍の年となり、ますますご発展する良い年になりますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

### インボイス制度元年

TKC北海道会 副会長 小中 昌幸

あけましておめでとうございます。2023年の年頭にあたり、TKC北海道会の会員の皆さまには謹んで新年のお祝いを申し上げます。

いよいよ今年インボイス制度開始元年となります。消費税制においてインボイス制度を採用してこなかった日本では、免税事業者との取引を課税されているものと割り切って仕入税額控除を認めてきました。インボイスがないので、取引先が消費税を納税しているかどうかを確認する手立てがなかったからです。

適正・公平な消費税制の運用には、インボイス制度は不可欠な仕組みです。消費者が負担する消費税が事業者の手元に利益として残ってしまうという益税問題は一先ず解消されそうです。

インボイス制度により最も影響を受けるのが、免税事業者である小規模事業者といわれています。本則課税事業者が、適格請求書発行事業者との取引を優先するのは自然の流れで、免税事業者が



取引から除外される懸念があります。

そこで、緩和措置の観点から実施後6年間は免税事業者との取引に80%、50%の仕入税額控除を認めています。さらに与党・税制調査会において、小規模事業者が新たに課税事業者になる場合に納税額を軽減する調整も検討されているようです。

## ニューメンバーズフォーラム 1日目

本則課税事業者は、経過措置適用のため免税事業者からの取引かどうか請求書等を見ながら1件1件確認しなければいけません。インボイス登録の効力は登録日なので登録日確認作業も必要となり、経理業務はますます煩雑になります。また、どの書類をインボイスにするのか、保存方法も含め検討すべき課題が多岐にわたります。

顧問先は、「なんか面倒くさいから従来のままでいいのでは」、「会計事務所に任せているから」と考えがちです。経理業務ワークフローの検討、会計システムとのデータ連携等々、対応準備には多大な時間がかかることが想定されます。

TKC会計事務所にとっては、インボイス対応を単なる税制改正対応に終わらせることなく、これを機会に顧問先の経理業務の効率化、さらにデータ数値を経営に活かすところまでレベルを引き上げていくチャンスです。電子帳簿保存法への対応も含め

顧問先のDX化を進めましょう。

インボイス制度の先には、国際標準規格であるPeppol(ペポル)に準拠したデジタルインボイスの活用が視野に入ります。請求書等の取引情報を自動で取り込めるようになり、インボイス要件のチェックや仕入税額控除の計算などが自動化され、もしかしたら、消費税申告書作成が不要になる未来が来るかもしれません。

さて、2022年は、コロナ禍で廃業や休業を余儀なくされた事業者もいましたが、一方で回復の兆しが見え始めた事業者もいたのではないのでしょうか。

2023年は癸卯年です。寒気が緩み、萌芽を促す年だそうです。これまで準備してきたことが実り、花開く年になって欲しいものです。

最後に、この1年が何より健康で、実り多き年であることを切に願い新年のあいさつとさせていただきます。

令和4年11月17日(木)～18日(金)、TKCニューメンバーズフォーラム2022が金沢にて開催されました。

2020年から始まった新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、2020年、2021年はオンライン形式での開催となったため、3年ぶりのリアル開催でのニューメンバーフォーラムとなりました。

TKC全国会の甲賀伸彦ニューメンバーズサービス委員長による開会宣言を皮切りに、コロナ禍でリアル開催できなかった2年分の思いをぶつけるような、非常に熱気あふれるフォーラムとなりました。



TKC全国会  
ニューメンバーズ・サービス委員会 甲賀伸彦委員長

続いて、自計化、継続MAS、書面添付分野で目覚ましい成果を上げたニューメンバーズ会員の表彰式が行われました。

1日目の講演は坂本孝司全国会会長より、「未来に挑戦するTKC会計人 一会計で会社を強くする」というテーマでお話をいただきました。コロナ禍の環境下にあってもTKC会員事務所の関与先は高い黒字決算割合を実績として残しており、TKC全国会が掲げる税理士の4大業務の完全な遂行が確実な成果として表れていること、全国のTKC会員の活動が着実に社会に認知されてきていること。

その上でご自身の著書である「会計で会社を強くする簿記・会計先覚者の金言集・解説」より、会計分野の偉大な先人たちが残した金言を紐解くことで、現代における帳簿の重要性を強調されました。さらに、令和4年1月～令和6年12月を活動期間としているTKC全国会運動方針「未来に挑戦するTKC会計人 巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう!」をさらに強く掲げていただきました。



TKC全国会 坂本孝司会長



第2分科会講師 鈴木圭介会員

その後、分科会に分かれて、以下のようなテーマでフォーラムをご開催いただきました。

#### 〈第1分科会〉

この3年間の関与先拡大事例公開！関与先ゼロ開業の私が成功した手法はこれだ！

#### 〈第2分科会〉

証憑のデジタル化・仕訳入力ゼロはここまで来た！FXクラウド活用徹底研究 ～私たちの監査、経営者の業績確認が大きく変わる～

#### 〈第3分科会〉

実演！本質的アプローチが、関与先の納得、職員のやる気を引き出す！

#### 〈第4分科会〉

これからのスタッフ採用！生き生きと働ける職場づくりと社員教育

#### 〈第5分科会〉

TKC社員の皆さんへのメッセージ(TKC社員向け)

私は第1分科会へ参加いたしました。自分と同様に関与先ゼロ開業をした全国の諸先輩方の手法やご経験を拝聴し、これまでの自分の活動を省みると共に新たな手法のヒントをいただきました。

関与先ゼロ開業での関与先拡大は、何が正解なのか分からない中での活動であり、私自身不安や孤独を感じていたところ、大変勇気づけられる内容でした。

フォーラム1日目の終了後には、懇親会にて金沢の幸を堪能いたしました。全国の会員が一堂に会

しての懇親会も3年ぶりであったため、非常に熱気あふれる懇親会となりました。

フォーラムの2日目は株式会社TKC飯塚真規社長より「TKCの経営戦略」と題して、基調講演が開催されました。TKCシステムが来たるDX時代に対応し、関与先の黒字決算を支援するvのかについてお話いただきました。

その後、「その挑戦が社会を動かす！ともにつくろう税理士の未来を」というテーマで、4名の会員により、各々が取り組んでいる事務所経営についてパネルディスカッションが開催されました。

全国会のフォーラム終了後、北海道会では税理士法人マネジメント山根敏秀会員の事務所へ訪問し、事務所見学会を開催させていただきました。山根会員に対する事前質問にお答えをいただく形で、事務所経営についてお話いただきました。

この2年間はオンライン形式であったため1日で開催されていたニューメンバーフォーラムでしたが、今回は全国から会員が一堂に集い2日間をかけて、様々な会員の方々から熱のこもった色々な話を伺う機会となり、非常に有意義なフォーラムであったと感じております。新型コロナウイルスの感染が再拡大し、先行きが不透明な状況が続く昨今ではありますが、リアル開催の良さを再認識することができました。最後となりましたが、来年以降もリアル開催が可能となることを祈念しております。

(札幌西支部 青沼 秀)

## ニューメンバーズフォーラム 2日目

### 1. ニューメンバーズフォーラム 2日目

2日目は、飯塚毅名誉会長のビデオ研修から始まりました。

その後、株式会社TKC飯塚真規社長から「TKCの経営戦略」というテーマで基調講演がありました。

前半は金融庁の監督指針改定(案)やインボイス制度完全対応宣言について、後半はTKC方式の自計化による黒字化支援についてお話をいただきました。

基調講演の後は、休憩をはさみ、静岡会の望月慎一郎会員をコーディネーターに迎え、東東京会の渡邊義道会員、神奈川会の秋元学会員、中国会の清水博文会員の3名によるパネルディスカッションが行われました。

テーマは「その挑戦が社会を動かす！ともにつくろう税理士の未来を」です。関与先拡大、採用や教育、TKCとの出会いと事務所経営への影響について、それぞれお話しがありました。特に印象に残っているのが、渡邊義道会員のエピソードです。



株式会社TKC 飯塚真規代表取締役社長



TKC全国会  
ニューメンバーズ・サービス委員会 遠藤成紀小委員長



パネルディスカッションの様子  
左から、TKC静岡会 望月慎一郎会員、TKC中国会 清水博文会員、TKC東東京会 渡邊義道会員、TKC神奈川会 秋元学会員

## 事務所見学会に参加して

渡邊会員のお客さまの社長が、他の会計事務所が関与している会社の社長に対し、「会計事務所が変わっても経営は変わらないと思っているでしょ。そんなことはないんだよ。うちの会社は渡邊事務所になって経営は大きく変わったよ」と語ってくださり、渡邊会員はその言葉を聞いて嬉しかったと同時に、自分の理想とするあり方を授けてくれたTKCに入会して本当に良かったとお話しされました。会場からは大きな拍手が起こりました。私の事務所も、1社でも多くこのようにお客さまに言っていただけよう努力しないとイケないと強く感じました。

### 2. ニューメンバーズフォーラムを終えて

今回のフォーラムでは、1日目の分科会で全国各地の会員と、また懇親会後の2次会で神奈川会の会員と交流をもつことができました。私のTKC入会とコロナ感染症の発生が重なっていたため、今まで北海道以外の会員と話す機会はほとんどありませんでしたが、全国各地の会員と話してみると、全国どの地域でも税理士として経営者として同じような悩みをもっていることを知ることができました。じかに会って話すことができるこのようなフォーラムに参加することができて、本当に良かったと思っています。

(北見支部 川江 利一)



集合写真

令和4年11月16日(水)～17日(木)において開催されたニューメンバーフォーラム2022in金沢に参加させていただきました。

1日目、2日目は坂本孝司TKC全国会会長・株式会社TKC飯塚真規社長の講演、分科会、ビデオ研修、パネルディスカッションが行われ、私個人としてはコロナ禍での入会だったということもあり、大変刺激を受けました。

また、2日目の午後からは、他の北海道会会員と共に税理士法人マネジメントへの事務所見学会に参加しました。

事務所は金沢駅から車で15分程のところであり、とても立派な建物でさぞかし職員の数も多いのだろう、と思っておりました。しかし、中に入ると代表である山根敏秀会員と他には手伝いに来られていた職員の方が1名いらっしゃるのみでした。不思議に思い、山根会員に聞いたところ「この場所は、いわば事務所のショールームで、実際の拠点は別にあります」とのことでした。

その言葉に私はとても驚きました。聞けば、関与先からは「こんな事務所を構えられる先生に自分は頼んでいる」と思ってもらうことができ、広告として機能している。そう考えれば建築に要した費用はそこまで気にならないとのこと、初っ端から自分の考えでは及ばないようなことをお聞きしました。

山根会員には事前に質問をお願いしており、中でも特に気になっていた顧問報酬の平均単価については、他の人には言えない部分、特に同業他社には言いたくないことでもあるにもかかわらず、快くお話しくださいました。また、これまでどのように事務所を運営してきたのか？という問いには「TKCの経営理念に沿って行動してきたらこうなりました」と答えられ、改めてTKC理念を始めとする、飯塚毅TKC全国会初代会長の教えを実行する大切さを感じました。

それから、山根会員は、Facebook、YouTubeなどにも意欲的に取れ入れており、現状には満足しない、といった前向きな姿勢にはとても刺激を受けました。

冒頭にも述べましたが、個人的には令和3年4月の入会であり、まだ入会して1年半程しかたっており、まだまだ学ぶことがたくさんあります。今回のニューメンバーフォーラムにおいてもいろいろなことを学ぶことができましたが、今後もニューメンバーサービス委員会だけではなく、他の委員会が主催するイベント・講演には積極的に参加して、時代に取り残されない税理士になろう、と思える時間を過ごすことができました。

(空知支部 坂本 健人)

令和4年10月12日、旭川信用金庫本店にて「旭川信用金庫とTKC北海道会」とのトップ対談が開催されました。対談では双方の協力関係強化に向けて、さまざまな意見交換が行われました。

### 【参加メンバー】

旭川信用金庫	理事長	原田 直彦 様
	専務理事	山本 章裕 様
	理事	近藤 靖彦 様
TKC北海道会	会長	田中 裕之 会員
	副会長	木村 聡 会員
TKC旭川支部	支部長	島田 康弘 会員
旭川支部中小企業支援委員長		薄井タカ子 会員



田中裕之会長 (TKC北海道会) 原田直彦理事長 (旭川信用金庫)

## 1. 田中裕之会長よりTKC会員の取り組みを説明

TKC会員はTKC財務システム(自計化システム)をベースに、原則毎月巡回監査を行っています。現場で色々な取引を確認し、経営者と対話しながら会計の適正性・正確性を確認した上で、信頼性のある会計帳簿を作成し、それをベースに税務申告や経営助言を行っています。これらのことは(株)TKCが発行する記帳適時性証明書によって証明することができます。また、TKC財務システムは月次更新後においては仕訳の遡及訂正ができない仕組みになっており、これが信頼性の高い決算書作成につながっています。

## 2. TKC会員の取り組み内容をベースに双方で情報交換【やりとりの一部を記載】

- (原田理事長) 昔は記帳代行業務が中心であったと思いますが、今は行わない方向に進んでいるのですか。  
 (田中会長) 最近の傾向はお客様が自社の情報を早く入手したい傾向にあり、自計化の指導を求めてくるケースが増えてます。  
 (原田理事長) 研修会開催にも取り組んでいただけているということですが、どのような内容を考えているのですか。  
 (島田支部長) 一例ですが、普段企業の方と接している職員の皆さま向けにわれわれ税理士が講師となって不適切会計の見極め方等を開催できればと思います。他にもインボイス制度等も行っていきます。  
 (薄井先生) 各支店ごとで開催することもいいかもしれませんね。  
 (原田理事長) 支店ごとだと人数も少ないかと思うのですが、どうなんですか。  
 (田中会長) 10人程度でディスカッションを交えながら実務的な課題に取り組んでいるケースもあります。  
 (原田理事長) 当金庫もお客様に対して、一生懸命伴走支援に取り組んでいますが、コロナ禍もありお客様が求めている支援はより強くなってきていると感じています。税理士先生と連携して地元企業の支援に取り組めることはありがたいと思います。  
 (木村副会長) うちの事務所はコロナ前は金融機関の方も参加して事務所セミナーを開催していました。そうすると金融機関の方と税理士事務所職員の距離が近くなり、気軽に相談し合える関係になっています。

## 3. 旭川信用金庫の取り組み

- (原田理事長) ビジネスマッチングへの取り組みを行っています。企業の状態がどうなっているか等、深くお客様のことを知らないという支援ができないため、TKCの税理士先生から指導もいただきながら、課題解決の道を相談させてもらいたいと思っています。  
 (田中会長) 金融機関の方と一緒に企業を支援していきたいと思っています。その為にはTKCモニタリング情報サービスをより多くの金融機関に活用していただき、企業と金融機関との情報の非対称性をできるだけ解消させていきたいと考えています。旭川信用金庫もTKCモニタリング情報サービスの普及と一緒に取り組んでほしいと思います。



トップ対談風景

## 4. トップ対談での合意事項

1. 行職員向け研修会の開催に合意 【直近では薄井タカ子会員が講師で開催を予定：テーマ インボイス制度】
2. 旭川信用金庫とTKC北海道会が協力し、地元企業に対する支援セミナーを企画・開催することに合意
3. TKCモニタリング情報サービス(MIS)推進において、貸出融資件数に対して10%超を目指し、双方で推進に取り組むことに合意



TKC北海道SCGサービスセンターセンター長

新垣 全  
Zen Arakaki

令和4年10月から北海道SCGサービスセンター長を拝命しました、新垣全(あらかき ぜん)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

TKC入社は平成9年です。これまで異動した地域は、栃木県、沖縄

県、福岡県、長野県、東京都で、北海道が6場所目になります。どこも素晴らしい地域で楽しい思い出ばかりでした。今回はその中から幾つかをご紹介します。

### 【沖縄県】

私の生まれ故郷です。たまたまですが私が希望したタイミングと人事戦略が重なり、SCGとして6年、センター長として5年勤めました。沖縄県民あるあるといえば「沖縄時間(うちなータイム)」でしょうか。約束の時間より少し遅れて行動する傾向があるようです。また、大らかで細かなコトは気にしない県民性とも言われています。では沖縄のTKC会員の方々はどうかという、月次巡回監査をしっかり行いFXシリーズを積極的に活用しています。ある先生は「飯塚初代会長の教えからメリハリを学んだ」と語っていました。支部企画などで沖縄へ行く機会がございましたら、事務所見学会も併設すると充実した旅行になると思います。その時は是非新垣にもお声掛けください。ゴルフと宴会もしっかりエスコートします。

### 【福岡県】

転勤族に人気がある地域です。ネットで調べると、福岡と札幌がトップ争いをしています。福岡の良いところは食事が美味しい、街がコン

パクト、移動しやすいなどのようです。TKCの事業所は中洲の近くにあり。会議や委員会を終えた後の懇親会は、中洲で「水炊き」「もつ鍋」が定番コースでした。私は平成16年から18年までセンター長代理として活動し、電子申告の普及に邁進した2年間でした。支部長と電子申告推進キャラバンをした後、中洲での夜通し作戦会議が一番の思い出です。

### 【長野県】

8つの県(埼玉、群馬、山梨、静岡、愛知、岐阜、富山、新潟)に囲まれ、周りに海がありません。沖縄から長野へ異動したため海と離れる生活に寂しさがありましたが、山との出会いが私に新しい価値観を与えてくれました。登山好きの会員に連れられ、北アルプスの「表銀座コース」を2日かけて縦走し「槍ヶ岳」に登頂した感動は一生忘れません。また、秋の山小屋での支部例会は松茸三昧の宴会でした。その時の支部例会は他支部のオブザーバー参加もOKで、皆で楽しく盛り上がりました。

### 【東京都】

私が担当した東・東京会は、下町で人情味溢れる地域で、会員導入とMIS推進に邁進した日々でした。競合他社が多い地域ですが、それ以上にビジネスチャンスもありTKC社員として成長を感じました。

北海道での生活が始まり2ヶ月が経過しましたが、仕事がしやすくプライベートも楽しく過ごしています。在任中に経験したいことは、①北海道マラソン完走、②大雪山登頂、③北海道一周です。もちろん、TKC全国会運動方針の活動をしっかりとご支援することが何よりも最優先です。全力で活動しますので、ご指導の程よろしくお願いたします。

# 巡回監査・事務所経営委員会主催 プレミアムセミナー

令和4年10月6日(木)から7日(金)にかけて巡回監査・事務所経営委員会主催プレミアムセミナーがおたる宏楽園にて開催されました。

全道各支部より選抜された将来を担うであろう精鋭会員および田中裕之会長や加藤恵一郎顧問をはじめとする支援会員合計13名と前田稔局長をはじめとする運営スタッフ3名の合計16名の参加となりました。

文字通りプレミアムな空間(庭園風な解放されたお庭、旅館内部の階段下で鯉が優雅に遊泳)でプレミアムな講師陣によるプレミアムなセミナーとなり、盛大に開催することができました。巡回監査・事務所経営委員会主催のこのプレミアムセミナーは次世代の北海道会のけん引役を担っていただける会員に対して、改めてTKCの基本理念や実践

事例、さらにはこれからのTKCの方向性などを確認していただき、それぞれの事務所経営に反映していくことを狙いとしています。集団での講義スタイルとは一線を画し、ひざ詰めでもより実践的でざっばらんな話も交えての講義は、より理解が深まったでしょうし、この場でしか得られないものも多かったのではないのでしょうか。



1日目の講義は、加藤顧問より「時代の変化の中、成功する職業会計人の条件」をテーマにご講演いただき、その後講師を交えて会員相互に自由闊達(かったつ)にディスカッションを行いました。終了後は温泉に浸かり、素敵な夕食に舌鼓をうちながら懇親会を開催いたしました。その後もディスカッションは尽きず、部屋にて延長戦へと突入し、いろいろな話で大いに盛り上がりました。

2日目は定刻通りに集まり、遠藤成紀巡回監査・事務所経営委員長より「成長発展する事務所の未来像を探る」をテーマに講演いただき、その後ディスカッション、最後に田中会長よりお話しいただきセミナーを締めくくりました。

今回のセミナーは参加された会員の皆さんにとって多くの気づきと学びがえられたものと思います。また、会員相互の連帯感を強く感じられるものでした。私自身も大変貴重な経験をさせていただきました。来期以降も継続して開催されることを期待しています。

(巡回監査・事務所経営委員会副委員長  
蝦名 和広)



## SUBARUアイサイトシステムとTKCシステムに見る思想

苫小牧支部  
柴山 太一  
Taichi Shibayama

私が今現在乗っている愛車は、平成25年式のスバルのレガシーB-Sportsという車でして、免許取得以来3台目



の車となります。特段車マニアではないので、一度選んだ車は物理的もしくは安全面的に無理がくるまでは乗り続ける気持ちで乗っています。

一台目のトヨタスターレットは、事故とパワー不足を原因に買い替えを決意、2台目スバルレガシーB4は、追突される事故で廃車というのが買い替え理由でした。2台目からスバル車を選んだ理由は、まだスバルが富士重工業だった時代のTV CMで流れていた水平対向エンジン(ボクサーエンジン)のイメージ映像を見て「かっこいいなあ、大人になったらこの会社の車に乗ってみたいなー」という憧れがあったのと、車選びをしているときにたまたま説明してくれた営業の人(今現在も担当してもらっている)がとても信頼できる顧客想いの方であり、車を買うならこの人からと思わせる人だったためです。

本稿のタイトルにあります、SUBARUアイサイトシステムというのが、私が現在乗っている車の年式くらいからバージョン2.0となり、搭載可能なオプションとして販売されていました。

このシステムは簡単にいえばSUBARU独自の安全装置の名称です。ちょっと記憶が曖昧ですが、確か当時税込105,000円(ギリギリ税率5%だった)でした。載せるかどうか迷ったのですが、前述の営業の方のオススメと初めてアイサイト搭載の試乗車を運転した時の衝撃(ある意味カルチャーショッ

ク)もあって、アイサイトのオプション追加を決めました(現在は標準装備)。

それ以降今に至るまでアイサイトを使いまくりのカーライフを過ごしており、もうこのシステムなしでは運転したくないほど気に入っています。決して自分をいわゆる「スバリスト」とは自称できない(そんなに車に詳しくないので)ですが、アイサイトマニアであることは胸を張っていえます。ちなみにアイサイトにハマってしまうと、次のような症状が表れます。

- アクセルを踏むのが面倒になる
- ブレーキを踏むのが面倒になる
- 渋滞でノロノロ進むのが苦にならなくなる
- 長距離運転(特に高速道路)が苦にならず、むしろしたくなるetc.

こういったアクションのほとんどが手元での指先操作で完結するため、足による操作が相当部分削減されます。これに慣れてしまうと本当に他の車を運転するのが嫌になります。

アイサイトは、ドライバーをグータラにするシステムです。ヨギボーのクッションが人も馬もダメにするかのごとくです。しかしながらこれは見方を変えますと、アイサイトの安全性能が相当優れているからともいえます。今現在の私が使っているアイサイトは既に10年前のものですが、それでも安全性能は最近の他メーカーの車に搭載されている安全装置に引けをとりません。それどころかまだ勝っている部分も多数あります。実際に使う機会は少ないですが(何かで代車を借りる時くらいで)、最新のアイサイトは当然のことながら進化しているようで、安全性能もさらに高まって、そんな車に乗ったらますますグータラドライバーになりそうです。

池袋の悲惨な事故などの影響もあり、最近どのメーカーも安全装置を重要視するようになってきましたが、各メーカーが見向きもしなかった時代から研究を重ねてきたのがSUBARUです。

SUBARUがアイサイトの改良に励んでいたころ、他のメーカーが何を競っていたかというそれは燃費でした。車の営業でも「この車はリッター何キロ走ります。他社のXXXよりも燃費がいいです」といったセリフが飛び交い、どんどん燃費合戦が加熱した末に、最後に待っていたのは、燃費の捏造でした。かなりのメーカーが燃費の捏造に手を染め、社会的にも問題となりました。

これは目先の利益にとらわれて、車に本当に必要なものって何だろうかという根底を軽視した結果ともいえるのではないのでしょうか? もちろん燃費の改良は大事なことですが、それは枝葉末節です。車という道具は性能(便利さ)と安全性をいかに両立させるかが大事で、後者を前者の犠牲にはしてはいけない道具のはずです。また性能や安全性の評価もメーカーへの信頼がないと成り立たないのに、捏造でそれを失うことをほとんどのメーカーが想像できなかったのは改めて考えると不思議なことです。そこをぶれないで安全性の改良に注力したSUBARUの「思想」は本当に見事だと思います。

あれ、これって他の業界でも聞いたことある話だと思いませんか? そう、われわれの業界のTKCと他の会計ソフトメーカーとの違いです。

他の会計ソフトメーカーが税理士事務所のクライアントに対して「クラウド会計で自動的に仕訳ができますよ」「会計事務所なんていりませんよ、だって自動なんだから、この分報酬値切ってやりましょう」「税理士になんて年一で試算表渡せばいいんです。だってほら自動なんだから。楽なもんですよ。楽させてやるんだから、報酬値切ってやりましょう」。こんなことをうそぶいて営業しているのが最近の風潮ですが(あ、一部想像も入ってます(笑))、これに

対して愚直な(笑)TKCが何をしているかは皆さまご存じの通りです。今も昔も変わらず「財務情報・申告情報の信頼性をいかに確保するか」「どうやって適正な申告をしていくか」という命題に数十年前から真剣に取り組んできました。

具体的には会計処理の訂正・加除履歴事項の記録をシステム上、がっちり担保し安易な遡及変更を不可にし、記帳適時性証明書の発行、モニタリングサービスによる電子申告と金融機関への申告書等の即時提出、書面添付の推進など、TKCシステムによる財務情報・申告情報の信頼性・品質の向上にひたすら注力しています。一見われわれのクライアントにとっては目先の利益につながらず、いろいろな手間を強いているかに見えて、実は一番クライアントのためになる道筋を築いてきたのはTKCシステムに他なりません。

中小企業にとって一番強力な外部の利害関係者である課税当局と金融機関に対して、「決算書・申告書に嘘偽りはありません。TKCシステムを全面的に活用していることがその証拠です」と堂々といえることはポストコロナの厳しい経済情勢でも大きな価値を持ってきますし、他社が今からこれをまねしようとしても簡単にはまねできない「思想」といえます。体裁だけ整えて真実性・信頼性の担保できない会計ソフトから出力される財務情報・申告情報は極論すると意味のない文字と数字の羅列に過ぎないのでから。

分野は違っても譲れない思想を守って進化してきたという共通点を自分からは切っても切れないSUBARUとTKCに見いだせたのは思わぬ発見でした。

さあ、今日もSUBARU車に乗って安全に関与先を巡り、TKCシステムのフル活用を推進して関与先の発展に貢献するとしますか!

注意:一部本人の願望(妄想)が入っており、事実と異なる部分もごさいますので、予めご了承ください。

# 中小機構北海道本部インフォメーション

## 「事業承継フォーラム」のご案内

— 令和4年度 —

**事業承継フォーラム**

5年連続開催

「ひとりで悩まない“事業承継”」  
充実した制度・支援体制を活用！  
早く・気軽に、周りに相談しましょう！

経営者への承継  
従業員への承継  
第三者への承継  
事業承継に関する様々な課題



北海道本部  
地域・連携推進課長  
関 寛之

本フォーラムは、事業承継にお悩みの経営者の皆様はもちろんのこと、まだ事業承継を意識されていない経営者の皆様にも課題としてイメージをもっていただき、行動に移していただきたいとの思いから、平成21年度から開催し、今年で14年目になります。

動画をはじめとする各種コンテンツにより今後事業承継を控えている経営者や後継者の皆様のお役に立つ情報をお届けしておりますので、是非、「事業承継フォーラム」のウェブサイトをご覧ください。

### 令和4年度事業承継フォーラム

(11月から2月にかけて順次公開)

#### ◇事例から学ぶ◇

実際に事業承継を行った経営者の声をお届けします。

●フォーラム1 2022.11 公開  
**技術と思いを引継ぎ、伝統建築の未来を切り拓く**  
こんな方におすすめ：廃業しか選択肢がないと思っている  
第三者承継の支援内容を知りたい

●フォーラム2 2022.12 公開  
**親族内承継**  
こんな方におすすめ：事業を継続・成長させるための取組  
親族内承継の事例を知りたい

●フォーラム3 2023.01 公開  
**技術の承継 ～事業承継の社会的意義～**  
こんな方におすすめ：「技術の承継」の意義／サプライチェーンを含めた「技術の承継」を知りたい

#### ◇事例のポイントや解説、国の施策を知る◇

事例企業のお話に触れながら中小機構が作成したテキストの解説や国の最新施策を紹介します。

●フォーラム4・5 2023.02 公開  
**令和5年度、事業承継の最新制度とは**  
こんな方におすすめ：国の取組方針／事業承継支援制度の変更点やメリットを知りたい

今年度のフォーラムの一部をご紹介します

#### 木材プレカット技術を活用して伝統建築の未来を切り拓く！



熊本県の郷原組は、寺社仏閣や伝統工法住宅の建築を主な事業としており、新たな事業展開・事業拡大を模索していた。木材のプレカット技術を持つ部署建設が高齢化で廃業すると耳にした郷原社長は、事業譲受を申し出るが、ひとりでどのように事業承継を進めればよいか悩んでいた。

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。最新情報をご案内しています。  
「事業承継フォーラム」 <https://jsf.smrj.go.jp/forum/>



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部  
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1-1-7  
中小機構 TEL 011-210-7470

中小機構は経済産業省所轄の独立行政法人です。  
企業の経営ステージに合わせた幅広いメニューで、  
中小企業・小規模事業者の成長を応援しています。

# 道内金融機関MIS対応状況一覧表(12月9日現在)

令和4年12月吉日

TKC北海道会会員 各位

TKC北海道会 会長 田中 裕之

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供サービス 申込件数	月次試算表提供サービス 申込件数	支店数	1支店あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数※に占める MIS割合
1	北海道銀行	地 銀	○	○	1,550	153	144	10.8	14,092	11.0%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,274	308	171	19.1	28,775	11.4%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,118	99	81	13.8	10,952	10.2%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	104	3	27	3.9	2,082	5.0%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	260	17	21	12.4	3,043	8.5%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	223	26	28	8.0	2,252	9.9%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	274	51	23	11.9	2,134	12.8%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	39	1	11	3.5	1,010	3.9%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	114	30	14	8.1	907	12.6%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	63	8	8	7.9	948	6.6%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	34	5	11	3.1	740	4.6%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	84	14	20	4.2	2,235	3.8%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	409	48	40	10.2	5,682	7.2%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	132	23	35	3.8	1,649	8.0%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	198	16	18	11.0	2,114	9.4%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	162	11	22	7.4	1,531	10.6%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	842	52	32	26.3	4,736	17.8%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	237	55	18	13.2	1,796	13.2%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	95	14	23	4.1	2,065	4.6%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	244	34	28	8.7	3,702	6.6%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	150	25	20	7.5	1,626	9.2%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	84	8	23	3.7	590	14.2%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	215	22	31	6.9		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	153	14	14	10.9		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	143	34	9	15.9		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	150	9	8	18.8		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	61	10	10	6.1		
28	十勝清水町農業協同組合	その他		○	11	6	1	11.0		
29	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	3,016	174	10	301.6	29,585	10.2%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会はじめ11金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金はじめ10金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう！

## 1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

### ■北海道内金融機関■

1 北海道銀行	8 空知信用金庫	15 北星信用金庫	22 日高信用金庫
2 北洋銀行	9 北門信用金庫	16 空知商工信用組合	23 室蘭信用金庫
3 道南うみ街信用金庫	10 稚内信用金庫	17 釧路信用金庫	24 留萌信用金庫
4 北海道信用金庫	11 帯広信用金庫	18 十勝信用組合	25 遠軽信用金庫
5 苫小牧信用金庫	12 北見信用金庫	19 大地みらい信用金庫	26 十勝清水町農業協同組合
6 旭川信用金庫	13 渡島信用金庫	20 釧路信用組合	27 伊達信用金庫
7 北空知信用金庫	14 網走信用金庫	21 北央信用組合	28 札幌中央信用組合

### ■都市銀行等■

1 三菱UFJ銀行	5 商工組合中央金庫
2 りそな銀行	6 日本政策金融公庫
3 三井住友銀行	7 北海道信用保証協会
4 楽天銀行	8 みずほ銀行

### ■道内に支店がある他県の金融機関■

1 北陸銀行	5 スルガ銀行
2 みちのく銀行	6 七十七銀行
3 秋田銀行	7 青森銀行
4 第四銀行	



## 2.TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義
3	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明
4	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
5	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
6	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美
7	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一
8	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎
9	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
10	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
11	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資
12	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
13	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
14	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
15	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
16	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
17	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカサヤ総合事務所	佐々木俊幸
18	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
19	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰
20	札幌東	札幌市中央区	佐藤博嗣税理士事務所	佐藤 博嗣
21	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣
22	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
23	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口 和雅
24	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹
25	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
26	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
27	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
28	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
29	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
30	札幌東	札幌市東区	名越税務会計事務所	名越 隆雄
31	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
32	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
33	札幌東	札幌市南区	原幸四郎税理士事務所	原 幸四郎
34	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
35	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
36	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
37	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
38	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
39	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
40	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
41	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
42	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
43	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
44	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
45	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
46	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ税務会計	阿部 真澄
47	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
48	札幌西	札幌市中央区	石川透税理士事務所	石川 透
49	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
50	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
51	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀
53	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
54	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也

No	支部	所在地	事務所名	会員名
55	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男
56	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
57	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
58	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
59	札幌西	札幌市中央区	杉村弘幸税理士事務所	杉村 弘幸
60	札幌西	札幌市中央区	税理士法人レアーレ	鈴江 誠
61	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	竹中 正美
62	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
63	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
64	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
65	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
66	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
67	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
68	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
69	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
70	札幌西	札幌市中央区	三上税務会計事務所	三上 香織
71	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	宮崎 知行
72	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
73	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
74	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
75	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
76	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
77	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
78	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
79	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
80	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
81	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
82	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
83	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
84	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
85	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
86	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
87	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
88	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
89	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
90	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
91	苫小牧	室蘭市	駒井桂何税理士事務所	駒井 桂何
92	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
93	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
94	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
95	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
96	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
97	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 渉
98	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏

No	支部	所在地	事務所名	会員名
99	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
100	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
101	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
102	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	白岩 征之
103	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
104	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
105	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
106	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
107	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
108	帯広	帯広市	朝日税理士法人帯広事務所	東城 敬貴
109	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
110	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
111	帯広	帯広市	干場慎也税理士事務所	干場 慎也
112	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
113	釧路	厚岸郡厚岸町	池田治税理士事務所	池田 治
114	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
115	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
116	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
117	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
118	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
119	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
120	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
121	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
122	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
123	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
124	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田 悦津夫
125	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
126	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
127	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
128	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
129	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
130	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
131	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
132	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南部 正弘
133	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
134	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
135	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
136	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
137	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
138	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
139	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓
140	稚内	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
141	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章

## TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 田中 裕之

## 早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

【令和4年12月9日現在・順不同・敬称略】

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川善明	30	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井正人
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎新	31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎公治	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田圭史	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷謙太
5	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本敏美	34	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田栄吾
6	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	35	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷裕幸
7	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股修二	36	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平康夫	37	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川拓厚
9	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤伸泰	38	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山高治
10	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮純	39	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷和彦
11	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口和雅	40	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島拓也
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田勉	41	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋慎吾
13	札幌東	札幌市白石区	中川信喜税理士事務所	中川信喜	42	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西康子
14	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田浩貴	43	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺亨
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田時人	44	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺祐吉
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本康男	45	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村栄章
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間貴久	46	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都正弘
18	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下浩	47	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林強
19	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川英樹	48	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
20	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美幹生	49	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本和繁
21	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田聡	50	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡吉昭
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇竜太	51	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合敏
23	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名和広	52	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海有起
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤成紀	53	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原政広
25	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館政男	54	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川博之
26	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川裕也	55	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井宏
27	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中昌幸	56	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀伸彦
28	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木康弘	57	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤康範
29	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中裕之	58	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木圭介

## 1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」及び「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

## TKC北海道

中小企業支援委員会 / システム委員会 / 巡回監査・事務所経営委員会

## 遠軽信用金庫向け研修会

## 決算書の信頼性の見極め方

日時：令和4年9月29日(木)

15:50~17:00

会場：遠軽信用金庫本店+Web

遠軽信用金庫本店で、決算書の信頼性の見極め方をはじめTKCの取り組みをテーマに研修会を開催いたしました。金融機関においては関心の高いテーマであり、研修会には本店+全支店から総勢96名(集合22名、Web74名)の参加をいただきました。講師は渡邊直喜会員(北見支部長)と川江利一会員(北見支部)が務め、熱の入った講義が行われました。



多くの職員に参加いただきました!(写真は本店の様子)

## 研修会の目的

今回の研修会は「TKC会員事務所と当金庫との協力関係を強化するため」の取り組みのひとつです。決算書の見方については経験とノウハウが必要であり、日頃から取引先企業の経営状況を把握し、コミュニケーションを図ることが大切であると思います。本日の研修会では、TKC北見支部の渡邊支部長より多くのことを学んでいただきたいと思います。



遠軽信用金庫 専務理事 市川 裕記 様

## 決算書の信頼性の見極め方

## 1. 不適切会計とは??

事実と異なる決算書を作成することです。「社長自身はとても誠実な方、嘘が大嫌い、粉飾をするなんてとても考えられない」という場合であっても、中小企業特有の経理体制の脆弱さや、税法基準に従ってさえいれば正しい会計になっているという思い違いから、意図せず不適切な会計になっていることがあります。

## 2. 不適切会計を防ぐためには!

「巡回監査」の実施により、会計事実の真实性、実在性、網羅性を確かめることで自社の状況を早期に把握し打ち手を検討できる体制を整えてあげることが重要。今後について十分に考える時間があれば、経営者は決算書を改ざんしようとは思わないと思います。金融機関の皆さまや私も税理士は月次決算によるモニタリング等を通じて、正しい決算へと導いてあげることが大切な使命です。

## 3. TKC会員事務所の取り組み(月次巡回監査を実施した上で)

決算書の信頼性を確保するために4つの取り組みを行っています。

- ①TKCモニタリング情報サービスの実践
- ②書面添付制度の実践
- ③中小企業の会計に関する基本要領
- ④(株)TKCが発行する記帳適時性証明書での証明



TKC北見支部 支部長 渡邊直喜 会員



※ディスカッション 渡邊会員、川江会員の掛け合いで行われました!

## テーマ1「TKCシステムとTKCシステム以外の違い」

※TKCシステムを使用し、毎月の試算表・決算書を作成している場合、「信頼性に問題はない」と思っていたで大丈夫です。税理士の立場から見ても不正の余地はありません。過去に遡って訂正できるTKC以外のシステムでは、どれだけ気を付けていても残念ながら不正の余地が残されてしまいます。システムで遡及訂正できないTKCシステムだから信頼性が確保できると思います。

## テーマ2「コロナ禍で思うこと」

※コロナの前と後を振り返ってみると、コロナ後の方が「お客さまからの相談がかなり増えた」のは事実です。融資、助成金、今後の不安など、社長様の悩みは多岐にわたり、タイムリーな試算表を作成していくことの重要性を改めて感じました。コロナを経験して、税理士と金融機関とのつながりはとても大切だと思っていますので、金融機関の皆さまが税理士に望むことをお聞きできる機会があれば、双方にとって有益だと思います。

## 島田理事長より

「地元企業を元気にするためにも、TKC会員事務所と今後も交流を図っていきたい」旨、お話がございました。

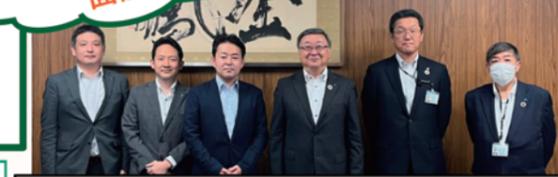


本音トークもありました!

TKC北見支部 渡邊 直喜 会員

TKC北見支部 川江 利一 会員

## 島田理事長とも面談!



左から 齊藤センター長、川江会員、渡邊支部長、島田理事長、市川専務理事、岡崎常勤理事

研修会前に行われた島田理事長との情報交換会も盛り上がりました!



## 令和4年度第一回例会・研修会・ 金融機関協議会開催

令和4年10月20日(木)空知支部第一回例会・  
研修会・金融機関協議会を開催いたしました。

最初に研修会では、税理士法人エルムパート  
ナーズの朝倉賢一さまに講師を務めていただき、  
実際にパソコンを操作して継続MASシステムの  
デモデータを使い、予算作成を行いました。

ポイントとしては、予算は会計事務所主導で作成  
するのではなく、その場で打ち合わせをして経営者  
の意思に沿った予算を作成することが重要であり、  
そのことにより、次第に経営者自身が予算を意識  
するようになっていったとのこと。また、経営者  
とのコミュニケーションの取り方という点でも勉強に

なつたと思います。

研修会の後は、第一回の支部例会を開催しま  
した。例会では、8月25日(木)に開催された理事会  
の報告、9月22日(木)の定期総会の内容の周知、  
委員会からの報告、それから、提携協定企業報告  
が行われました。

そして、大和ハウス工業からは新担当者の松岡  
嶺さまに、TKCからは滝川地区の担当になった塩澤  
樹生さまからごあいさつをいただきました。

例会後には、金融機関協議会を3年ぶりに開催  
しました。空知信用金庫の八木橋亨部長代理と  
内田亮主任、空知商工信用組合は鈴木之彦常務

理事、日本政策金融公庫からは石川眞嗣札幌北  
支店長と佐藤修融資第二課長にご出席いただき  
ました。

協議会では、TKCの取り組みとしてモニタリング  
情報サービス、書面添付、ポストコロ事業、BASTなど  
について説明をし、TKC会員が行っている行職員

研修について一部実際に体験していただきました。  
各金融機関からは、最近の景気や融資状況につい  
てお話しいただき、最後はお互い質疑応答を行い終  
了しました。

(空知支部 支部長 八幡 吉昭)





# 支部例会・研修会だより

FROM SORACHI, HAKODATE, TOMAKOMAI



## 支部例会

令和4年10月17日(月)午後1時より函館支部例会が、フォーポイントバイシェラトン函館にて開催されました。

冒頭の支部長あいさつに続き、各委員会の活動報告と今後の予定等が報告されました。特に書面添付委員からは、添付件数のさらなる増加と内容の充実が求められているとのお話でした。

その後、株式会社TKCより、北海道SCGサービスセンターにおける新体制についてのご報告とFXクラウドシリーズ推進についてのご報告があり、続いて大同生命保険株式会社より支部成績等が、

大和ハウス工業株式会社より販売物件等のご案内をいただきました。

函館支部の例会名物・各会員による近況報告では、令和5年10月からのインボイス制度導入に伴う事務所の業務量増加にどのように対応したらよいかなど、直面する諸問題について会員間で問題共有が行われました。

例会に引き続き、同会場にてTKC函館支部企業防衛友の会主催の企業防衛研修会が行われました。

(函館支部 後閑 慶子)

保存機能があるにもかかわらず、あまり認知されていないことなどのお話をいただきました。

続いて、11月に札幌西支部と合同で開催された事務所見学会(静岡県沼津支部の税理士法人トップ)についての報告がありました。当支部からは、湯谷支部長、小林史郎会員および小泉統邦会員が参加しました。「TKCの施策をすべて実施している事務所体制や、関与先報酬が高い仕組み、職員の給与体系など参加者からの質問にも丁寧にお答えいただき、とても充実した見学会であった」との発表がありました。

また、各会員近況報告では、今年は例年以上に税務調査が多いことや人手不足が続いていることなど話があり、TKCセンター報告では、FXクラウド

シリーズのインボイス対応が6月までに行われるなど今後のシステム対応について説明がありました。

支部例会終了後、歴史ある老舗ホテルの露天風呂にて疲れを癒し、3年ぶりの忘年会が開催されました。

(苫小牧支部 本野 博之)



## 12月例会および忘年会

令和4年12月15日(木)、登別温泉、登別グランドホテルにおいて集合形式で12月例会を開催いたしました。本来11月開催ですが、静岡県沼津支部での事務所見学会や税務調査などが重なり12月開催となりました。当日は参加者全員がコロナワクチン予防接種証明書又は陰性証明書を持参し、万全の感染防止体制の中、3年ぶりの忘年会も併せて開催されました。

出席者は会員6名、TKC北海道会からは本間貴久副会長が出席され、大同生命川村正益支社長、大和ハウス工業からは竹内一峰課長と松岡嶺さま、TKC北海道センターからは新垣全センター長とSCG中島敏さまの出席がありました。

最初に、湯谷和彦支部長よりあいさつがありました。その後、本間副会長から金融機関と他社ソフトとの連携が進んでいることや、TKCソフトにも証憑



令和4年 書面添付実践件数 (令和4年11月末日現在)

令和4年 書面添付実践件数 (令和4年11月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	98	4	8	2	7	18	7	8	8	7	10	9	88
2		市川 善明	45	1	13	2	2	13	2	4	2	4	2	2	47
3		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	29	0	7	3	3	4	1	2	3	3	3	5	34
5		岩本 敏美	30	0	4	1	1	6	3	3	4	2	2	2	28
6		大林 慎一	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	5
7		能登 康広	9	0	1	0	1	0	2	0	1	1	2	1	9
8		加藤恵一郎	215	4	36	42	25	37	16	5	13	12	8	14	212
9		金子 雅行	8	0	1	0	1	1	1	1	0	2	1	0	8
10		金坂 和正	14	0	2	3	0	2	1	1	3	0	0	1	13
11		川股 修二	163	8	17	10	21	20	11	17	15	10	14	16	159
12		小平 康夫	47	0	3	3	3	10	4	2	4	4	4	5	42
13		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	0	1	10
14		坂本 文彦	7	0	2	0	0	4	0	0	1	1	0	0	8
15		佐々木忠則	232	7	24	54	19	39	21	13	17	11	12	14	231
16		佐々木俊幸	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17		佐々木幸徳	39	0	2	1	6	11	0	4	1	2	3	3	33
18		佐藤 俊一	14	0	3	1	0	2	0	1	2	1	0	2	12
19		佐藤 伸泰	66	1	7	15	3	18	4	5	4	0	5	2	64
20		下坂 登	7	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6
21		清宮 純	83	1	9	7	7	16	7	4	6	4	9	9	79
22		高野 真人	7	0	1	0	0	1	1	2	2	0	1	0	8
23		田中 慎也	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
24		谷口 和雅	21	1	2	4	0	6	3	2	3	0	1	1	23
25		千葉 寛樹	92	4	19	13	3	20	4	3	5	6	2	7	86
26		出口 秀樹	53	3	4	4	7	14	1	5	4	5	0	7	54
27		寺田 勉	80	1	10	17	6	13	8	2	1	8	5	9	80
28		中川 一俊	53	0	10	5	7	16	1	1	5	1	3	6	55
29		中川 信喜	60	3	6	11	3	8	5	5	3	4	3	6	57
30		中田 浩貴	33	1	2	3	2	3	1	1	6	3	1	1	24
31		名越 隆雄	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
32		原 幸四郎	58	1	1	35	2	9	1	2	2	2	1	0	56
33		藤谷 満雄	18	0	1	1	1	3	2	0	2	1	2	4	17
34		藤田 時人	66	3	4	9	7	9	8	1	9	3	4	2	59
35		藤本 康男	7	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5
36		本間 貴久	157	2	21	16	14	31	6	7	9	12	8	13	139
37		本間 崇	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
38		松本 隆臣	75	3	7	8	2	14	6	1	7	4	4	8	64
39		丸山 昭一	30	1	5	1	3	6	2	2	1	1	5	3	30
40		南 優香	38	3	7	2	3	7	1	3	4	1	3	3	37

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
41	札幌東支部	宮下 直樹	149	6	40	41	10	26	7	12	11	9	13	20	195
42		宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43		森下 浩	18	0	3	4	2	1	0	1	0	1	0	4	16
44		山美 幹生	35	1	4	6	3	13	1	3	3	2	3	1	40
45		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46		吉川 直宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		米澤 篤志	9	0	0	1	1	5	0	1	3	3	1	0	15
48		阿部 真澄	53	0	1	0	1	11	4	4	4	9	13	11	58
49		池脇 竜太	98	1	9	14	8	15	9	5	5	10	8	8	92
50		石川 透	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
51	札幌西支部	國分 敬祐	5	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2	7
52		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		上原 貢	13	0	1	2	2	1	2	1	2	1	0	1	13
54		遠藤 成紀	204	6	29	26	12	38	15	16	17	7	11	15	192
55		大沼 宏	6	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	7
56		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57		岡崎 正毅	11	0	0	6	0	0	0	1	1	0	0	2	10
58		小川 裕也	15	1	2	2	1	4	0	1	0	1	1	1	14
59		川端 忠範	14	0	1	0	1	4	2	0	0	1	3	1	13
60		小中 昌幸	62	1	6	6	3	12	7	3	6	11	5	11	71
61	札幌西支部	小林 康弘	19	0	1	2	3	5	1	1	1	2	0	1	17
62		近藤 勝美	5	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	5
63		杉村 弘幸	14	0	0	2	2	3	0	0	2	0	3	2	14
64		鈴江 誠	42	1	5	7	6	11	3	1	7	2	0	1	44
65		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66		竹中 正美	34	1	10	3	1	11	1	2	7	3	2	3	44
67		田中 裕之	149	1	16	17	10	46	4	8	13	13	9	11	148
68		藤堂 愛子	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	5
69		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70		長田 幸雄	18	0	3	0	0	4	1	2	1	1	3	3	18
71	札幌西支部	西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72		八森 恵一	8	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	6
73		平田 清悦	32	0	8	6	1	4	1	1	3	1	1	3	29
74		堀内鶴次郎	21	0	4	0	1	5	1	1	1	2	1	3	19
75		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
76		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
77		森下 敏美	13	0	2	3	0	3	0	3	0	0	0	1	12
78		柳橋 琢磨	7	2	3	1	0	2	0	0	1	1	0	1	11
79		八島 依子	23	0	3	3	0	6	3	0	1	3	2	2	23
80		山田めぐみ	8	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
81	札幌西支部	山谷 謙太	261	7	24	29	27	66	19	26	23	16	16	23	276
82		吉田 淳	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
83	小樽支部	足立 竹秀	13	0	1	1	0	3	0	0	2	1	4	1	13
84		澤田 忠宏	54	5	9	3	2	8	6	5	6	2	4	2	52
85	函館支部	戸井 三雄	73	0	8	8	1	22	8	2	5	6	8	6	74
86		西 正則	13	0	1	1	1	4	1	1	0	2	2	0	13
87	函館支部	奥山 昌弘	23	0	2	4	2	1	2	3	1	1	2	3	21
88		鎌田 直善	41	4	4	6	4	8	1	4	2	3	4	0	40
89	函館支部	後閑 慶	8	0	2	0	0	1	0	1	1	1	0	7	
90		千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	6
91	函館支部	西谷 裕幸	23	0	1	0	1	1	0	3	2	2	3	4	17
92		田村 維之	0	0	1	2	0	2	1	0	0	0	1	0	7
93	空知支部	蛭子井真市	33	2	1	0	4	9	1	3	6	2	2	5	35
94		細川 拓厚	35	1	4	6	2	11	4	0	4	2	2	1	37
95	旭川支部	松山 高治	17	1	5	1	3	1	1	2	2	1	1	19	
96		大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
97	旭川支部	木村 聡	80	2	13	3	4	28	3	5	9	3	7	6	83
98		斎藤恵美子	40	0	5	3	3	11	4	5	2	2	0	1	36
99	旭川支部	坂本 和繁	152	4	34	18	5	35	10	13	7	3	4	9	142
100		鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
101	旭川支部	八幡 吉昭	23	0	5	4	1	5	2	1	1	3	0	1	23
102		山田 和訓	92	5	18	13	7	19	3	3	6	10	5	4	93
103	旭川支部	薄井タカ子	25	1	3	8	0	5	1	1	2	0	1	2	24
104		尾田 利雄	60	1	13	3	3	15	3	6	5	3	3	3	58
105	旭川支部	加藤 一博	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
106		金谷 博光	127	2	28	14	13	30	11	2	11	3	7	8	129
107	旭川支部	熊谷 益夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108		小島 拓也	6	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	5
109	旭川支部	佐藤 弘道	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
110		高橋 愼吾	95	3	18	7	5	22	6	7	7	5	5	6	91
111	旭川支部	舟橋 馨	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
112		渡辺 祐吉	63												

## 札幌西支部・苫小牧支部合同研修旅行

令和4年11月7日(月)札幌西支部・苫小牧支部合同で事務所訪問研修旅行が開催され、静岡県沼津支部の税理士法人トップを訪問しました。

2年前から企画されていましたが、コロナ禍が続いたことにより、2020年、2021年と中止となり3年越しでの実現となりました。当日は、札幌西支部からは山谷謙太支部長はじめ14名、苫小牧支部からは湯谷和彦支部長はじめ3名、そして今年10月に着任したばかりの新垣全(ぜん)北海道センター長の合計18名が参加しました。

今回の旅行は、当日に現地集合する形となり、前日の日曜日から出発し観光を楽しんだ参加者もいれば、当日入りの参加者もありました。また、翌日も現地解散で、各自の都合に合わせてやすい形になりました。

税理士法人トップは、齋藤保幸会員が長年トップとして発展させてきましたが、昨年4月に岩瀬貴之会員が所長に就任し、実質的に事業承継をしました。



そこで、今回の研修では岩瀬会員が事務所紹介および質疑応答を行いました。とはいえ、齋藤会員も会長として岩瀬会員と「あでもない、こうでもない」とやりとりしていました(笑)。

事務所説明の中では、齋藤保幸税理士事務所設立から現在に至る事務所の変遷および組織体制、役割分担についての説明がありました。例えば、「お預かり制度」として鹿児島と埼玉の税理士のご子息を職員として育成していることや、決算報酬見積が決算業務内容・月次報酬・税務代理報酬の3つの要素から行い毎年変動すること、税理士法人の収入は税理士報酬のみでソフトレンタル料や保険代理店手数料は関連会社の株式会社トップに入る形式をとっていることが特徴的でした。

質疑応答では、事前に参加者から募った質問への回答のほか、その場で数件の質問があり、時間内に全ての質問に回答することが叶わないほど活発な時間となりました。

事務所内での研修終了後の懇親会では、まず沼津名物といううなぎ重を齋藤会員がお気に入りのうなぎ屋でいただきました。うなぎの旨みが程よく身に残り、全員がおいしかったというほど好評でした。うなぎ屋の後は、岩瀬会員自身が営業した関与先である居酒屋に場所を移して、懇親会パート2が行われました。そこでは、時間不足で事務所内で聞くことができなかった質疑応答をしたり、駿河湾でとれた新鮮な魚の刺身盛り、サクラエビそして静岡の地酒をいただいたりと、盛り上がった懇親会でした。その後、有志でタンメンを食べに行きました。

今回の研修旅行では、健全な事務所経営のためには精査された作業内容に基づく堂々とした値

決めと、誰が経営者か担当者になっても一定の品質を保てる仕組みの確立が、事務所の継続的な発展に必要不可欠だと感じました。

また、うなぎを食べるなら、同じ静岡県でも浜松だけでなく沼津もあるのだと気づいた、そんな研修旅行でした。

(札幌西支部 熊谷 亘泰)



# 大和部会 宮城山形研修旅行記

会員の皆さま、おはようございます。又は、こんにちは。あるいはこんばんは。何かとウイルスに好かれてインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症にデルタ株ならびにオミクロン株とかかりました、TKC北海道会資産活用委員会大和部会の部会長こと住吉赳夫です。

さて、この度2022年11月3日(木)から5日(土)にかけて、台湾インフルエンザバイオハザード事件※から約3年ぶりとなるTKC北海道会資産活用委員会大和部会にて、宮城県そして山形県へと研修旅行に行っていました。

※かいほう第235号 P18~22「大和部会台湾研修旅行記+住吉のぶらり台湾旅行」参照

## -11月3日(木)-

天気は曇り空、千歳空港にて7時45分に集合でしたが、前回ギリギリ到着した李香純会員も早めに到着して一安心していたところ、あれ？南昇会員が到着していない。慌てて大和ハウス工業の高石さんが南優香会員に連絡し、6時に出発したとのことと到着を待つが一向に現れない。何か事件に巻き込まれたのではと皆不安になったが、南昇会員から連絡があり北朝鮮からのミサイル発射に伴い電車が停まるというトラブルが…。

とりあえずは無事を確認でき安心したところで、宮城県で会えることを期待しつつ一路仙台空港へ出発。寝る間もなくあつという間に到着。

仙台空港からバスに揺られ今回の研修旅行の目的でもある仙台扇町物流センターの視察に出発して間もなく、バスガイドさんがいきなり「ヤマト部会の皆様～」と言い間違え。全員からのツッコミを受

けつつよくわからない言い訳をしだす。いきなり盛り上げていただきありがとうございます。

建築途中の物流センターでしたので、参加者全員ヘルメット着用。なかなか面白い光景でした。いろいろ説明を受けましたが、何一つ覚えておりません。しかし、これだけの大規模な建築物の広さを見て、ただただ「すごっ！」の一言です。大和ハウス工業さんの企業力に度肝を抜かれるばかりです。



仙台扇町物流センター

これにて研修旅行終了。これからがヤマト部会改めダイワ部会研修旅行の醍醐味です。まずは、塩釜にて、昼食を終え、<sup>しおがま</sup>鹽竈神社へ。ホームページ <http://www.shiogamajinja.jp/> もしくは、志波彦神社・鹽竈神社で検索。

ここで、宮下会員がおみくじを引きました。内容はこちら、「小吉、待人:来ない。来ても遅い。縁談:さわりあって、ととのいがたい。時を待つこと」…心当たりある方、どうかどうか、よろしくお願ひ申し上げます。



宮下会員のおみくじ(小吉)

塩釜といえば笹かます。基本の笹かまも美味しかったですが、ニュー笹かま一、その名も「むう」をその場で焼いていただきましたが、これも美味。心残りといえば、牛タン食べてない！

お腹一杯となったところで京都の天橋立、広島宮島と並んで日本三景と称される松島を遊覧船にてクルージングです！楽しみです！お腹一杯なのです！寝ましたよ！松島湾のことはほとんど覚えていませんが見事な景色だったと思います。

次に向かうは国宝に指定された瑞巖寺です。それは見事な芸術品のような屏風や欄間が並び、さすがは伊達政宗です。2011年に被災される前は、門前に立派な杉の木が立ち並んであったのですが、残念ながら倒れてしまったそうです。しかし、全体的にとっても神秘的で、庭のコケを見て宮下会員が盆栽を始めようかと思案するくらい心が洗われるような庭でした。なるほど、あながちおみくじは当たっている。

1日目の研修は終わり一路アクティブリゾート宮城蔵王へ。序盤から濃密スケジュールで疲れたのかホテルまでのバスはいささか静かでした。ホテルに着くと、18時から会食。広間にて朝に会うことが



刺し盛り(渡辺靖彦さまからの差し入れ)

できませんでした南昇会員にやっと会うことができ安心しました。

南会員からのお詫びの乾杯に始まり、前の北海道支社長、現在仙台支社長の渡辺靖彦さまから豪華な刺し盛りをいただき、盛り上がったまま2次会カラオケ大会と皆さん一芸をみせつつ、長い1日が終わりました。1日の最後は、住吉、宮下会員、李会員、佐藤博嗣会員の4人で反省会を宮下亭にて飲み続けました。博嗣会員はあつという間に寝ました。

## -11月4日(金)-

天気は少し雨模様、9時出発で今日は誰も遅れないだろうと思っていたところ、今度は大和ハウス工業の南さんが遅刻。さすが南さん、東北北海道ブロックでトップの営業マンは行動も一味違います。5分遅れで出発した一行が向かったのは銀山温泉



銀山温泉街

です。時間がないので観光15分です。急いでください。とりあえず奥に滝があるということで猛ダッシュ。奥から見る温泉街の風景は、『千と千尋の神隠し』を彷彿とさせる景色で風情溢れ、このまま温泉に入りたいですが、たった15分では無理でございます。と、バス停についたらお店の前にありました。恋愛おみくじ。宮下会員リベンジマッチ。引きました大吉！なにになに内容は覗き込むと、段階を踏んで、一步一步焦らずに…結局、来ても遅いのか。心当たりある方、どうかどうか、よろしく願い申し上げます。

次に向かいますは山形県最上川、舟下りにて昼食をいただきます。近藤康範会員用に日本酒を3本購入。残念ながら雨模様のまま下り、外もあまり見えづらかったですが、丁度よい季節で紅葉もあり、川の広さも堪能、ここで食べた山形県の郷土料理芋煮と山形県の日本酒がとても美味しかったです。船頭さんに最上川舟歌を歌ってもらい、なんでも船頭さんの中で一番うまい人に当たりたいで素晴らしかったです。部会長という職権を乱用して最上川舟下りを入れて正解でした。

次に向かいますは、山寺芭蕉記念館です。ここでは、お抹茶とお茶請けのお菓子をいただきました。若手はお茶の作法など知るはずもなく、どこかで聞いたことのある「結構なお手前で」と言って飲み干しておりました。松尾芭蕉は皆さまもご存じの通り『おくのほそ道』で有名かと思いますが、江戸を出発して福島、仙台、近藤会員のルーツでもある平泉を含む東北から北陸を駆け巡り、よく150日で大垣までおおよそ2400キロよく歩いたと改めて感心いたしました。「閑さや岩にしみ入る蝉の声」しか記憶にありませんが、松尾芭蕉を追っていく旅もしてみたいですね。

2日目は、仙台から山形への移動もあったため、見るところは少なかったですが、今日も美味しいものをたくさん食べて飲んでお腹が膨れていました。



白銀の滝



宮下会員のおみくじ(大吉!)



おくのほそ道行程図

ホテルは山形市内のホテルメトロポリタン山形にてホテル会食、地酒が飲みきれないほど冷やされていて至れり尽くせり、大和ハウス工業さん、ダイワリゾートさんありがとうございます。2日目の夜は若手開放日。若手と、なぜか新谷支社長も付いてくるという不思議なメンバーで山形市内の居酒屋で山形名物お蕎麦をいただいた後に、前田局長が普通だったわさのラーメン前田で締めラーでした。当然お腹がさらに膨れ上がりました。お腹一杯過ぎて本日反省会はありませんでした。

### -11月5日(土)-

天気は曇り、一致団結し予定時間通り出発しました。山形城跡を散策した後に宮城峡蒸留所 ニッカウキスキーに見学に行きました。ニッカといえば余市、そして、その後にできたのが、宮城峡にある工場です。初代ニッカの竹鶴政孝社長が余市の大地と水に惚れ込んで作ったウイスキー、そして竹鶴社長の息子さんである二代目竹鶴威さんが、宮城峡に豊かな水があるということで提案して工場を建てたそうです。それにより、余市のモルトと宮城峡のモルトをブレンドしてできたのがニッカ特有のピュアマルトです。

ウイスキーの種類には大きく分けてシングルモルト、ピュアマルト、グレーン、そしてブレンテッドがあるのはご存じでしょうか。ウイスキーを製造しているところの一番推しはブレンテッドのウイスキーで、何回も試飲して作り上げたグレーンとシングルをブレンドしたウイスキーらしいです。ウイスキーを飲む機会がありましたら内容も気にして見てみてください。私ウイスキー好きなので美味しいウイスキーを試飲しながらお土産にたくさん購入させていただきました。

ほろ酔いながら雰囲気漂う秋保温泉 伝承千年の宿 佐勘にて高貴な気分になりながら昼食を済ませ、鐘崎 笹かま館にてまた笹かまを食べ、隣の



宮城峡蒸留所 ニッカウキスキー

建物に「仙台七まつり」に飾られた幾重にも重なる大きな七夕飾りを見学し、これで仙台に思い残すことは…牛タン食べてない！仙台空港にて牛タンをお土産に無事に千歳空港へと到着しました。

最後に、今回初めて参加された高野真人会員は税理士とは思えないくらいプロの写真家となり、仙台そして山形の様々な風景、そして、私たちの楽しい思い出をカメラに収めていただきました。ありがとうございました。同行していただいた高石さんをはじめとする大和ハウス工業さん、企画運営したダイワリゾートさん、参加された会員の皆さま、奥さま、ありがとうございました。

来年は部会長の立場を利用して、私の生まれ故郷の鹿児島、そしてリゾート宮崎に行ってみたいものです。ですので、資産活用ということであればなんでも大和部会にてどうぞよろしくお願いいたします。

(TKC北海道会 資産活用委員会 大和部会 部会長 住吉 赳夫)



# あの人 は 今 第17回

## いくらと鮭とばと干し貝柱

千葉センター センター長 藤林 貴之

北海道の皆さま、大変ご無沙汰しております！  
現在、千葉センターに勤務しております藤林です。  
私は、平成18年10月より北海道センターにて3年間、旭川センターにて4年間、皆さまとお仕事させていただきました。計7年間の中で、主に札幌、苫小牧、室蘭、伊達、旭川、名寄、稚内、紋別、北見、美幌の会員事務所を担当し、一部ご迷惑をおかけした時期もありましたが、先生方、職員の皆さまには仕事のやりがいと楽しさを学びました。

北海道会は、今までで一番長く関わった地域会でもあり、私の地元でもあることから、とても思い出深い7年間です。SCGとして最後に仕事したのは北海道であることから、会員先生はもちろん、職員の皆さまとも本当に楽しく仕事をさせていただきました。今の私があるのは、皆さまのおかげだと本気で思っています。大変お世話になりました。

また、(昨年は)北海道会創設50周年、誠にありがとうございます。かいほう記事にて、見覚えのある先生が活躍している姿を見て、これからの北海道会もポテンシャルが高く、羨ましく感じました(もちろん千葉会も頑張っています!)。9月に開催されました千葉会年度重要テーマ研修では遠藤成紀先生に講師をお務めいただき、事務所経営のノウハウを多くの先生が学びました。千葉会担当として、北海道会に負けないように今の役職を全うしたいと思います。

私は、旭川センター勤務後、静岡センターに4年、柏センターに4年、そして一昨年より千葉センターにて、千葉会の会員事務所をご支援しております。



千葉県は意外と広く、銚子方面だと片道2時間ほどかかるのですが、北海道での長距離移動経験が功を奏し、全く苦にはなりません。

実は昨年の8月、3年ぶりに故郷芦別市に帰郷いたしました。残念ながら札幌方面には行けませんでした。富良野、美瑛、旭川、名寄、美深と周辺地域を堪能いたしました。名寄駅前の三星食堂、9年ぶりに行きましたが、鳥の照り焼きマヨネーズ炒め定食、相変わらずボリューム満点!食べつくしました。私は地元北海道が大好きで、ふるさと納税は北海道一択、毛ガニは毎年稚内の某関与先より事務所に内緒で取り寄せております(ごめんなさい)。

今年のニューメンバーズフォーラムは北海道ということで、多くの先生方と再会できることをとても楽しみにしております!これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

※タイトルは、ふるさと納税で毎年取り寄せているベスト3です(笑)

帰ってきた

札幌西支部 山谷 謙太

第29回

# けんたの業務日誌

支部長編



明けましておめでとうございます。

内容は年明けからめでたくありませんが、恒例の失敗談より。税理士法33条の2の添付書面を一生懸命やっているのに、税務調査が約2年半なかったと思ったら、9月下旬から怒涛の5週連続調査となりました。結果コロナ禍で控えていただけだそうです。この事務年度から通常に戻ったそうです。でも、1件は税務調査からの依頼で、もう1件は印紙税だし、もう1件は非営利法人の源泉所得税の調査で、更にもう1件は期中からの関与だったため、添付できなかったということで実質は1件か。ほっ。

しかしながら、添付していても期すれは指摘され、貯蔵品の指摘も受けた。決算月の不自然に多い経費には要注意です。

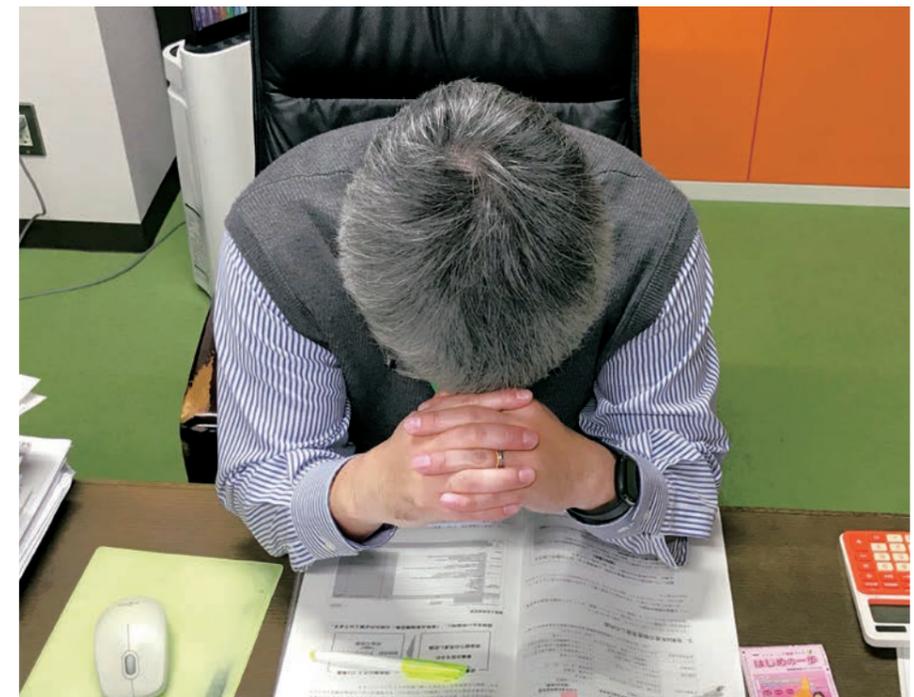
また、投資信託の特別分配金は、雑収入ではなく、元本の払い戻しなので、ご確認を。更に事務所

家賃もきちんと契約書を確認しないと、実質はそれでも契約書が居住用だと仕入税額控除はできません…。

先日、税理士法人加藤会計事務所さんの書面添付を見る機会がありました。めちゃくちゃ記載あり、顕著な増減も盛りだくさんでした。そのことを加藤恵一郎会員(札幌東支部)に伝えたところ、「うちでは普通だよ」とのこと。

今年は顕著な増減も含めて記載内容を充実させていきます!

【追伸】写真はポストコロナ事業もやらないといけないし、インボイス制度開始前に自計化推進もしなくちゃならないし、あれもこれもできないから、どれが優先順位高いんだ!と悩む山谷。



令和	月	日	行事名
4	11	1	ニューメンバーズ実務セミナー
4	11	2	中小企業支援委員会
4	11	2	ニューメンバーズ・サービス委員会
4	11	7	資産対策研究会定例研究会
4	11	10	リスクマネジメント制度推進委員会
4	11	14	巡回監査・事務所経営委員会
4	11	14	巡回監査・事務所経営委員会OMS活用セミナー
4	11	15	金融機関行職員研修会（札幌）
4	11	21	北海道医業会計システム研究会研修会
4	11	22	札幌西支部例会
4	11	30	小樽支部例会
4	11	30	北見支部例会
4	12	6	帯広支部例会・秋季大学実行委員会
4	12	7	空知支部例会
4	12	8	広報委員会
4	12	8	金融機関行職員研修会（帯広）
4	12	9	正副会長会
4	12	9	システム委員会
4	12	12	書面添付推進委員会
4	12	13	顧問相談役参与会
4	12	14	金融機関行職員研修会（札幌）
4	12	15	共済制度推進委員会 歴代委員長座談会
4	12	16	理事会
4	12	19	ニューメンバーズフォローセミナー
4	12	22	広報委員会

谷口 卓弥（札幌東支部）

令和4年9月入会

事務所住所

〒001-0909  
札幌市北区新琴似9条16丁目1-1  
谷口卓弥税理士事務所

プロフィール

- 出身地／札幌市
- 前職／税理士事務所
- 趣味特技／PC
- 夢・ひとこと／TKCの会員の方々のお話を伺いそのまま入会となりました。よろしくお願いたします。



## 過去の『かいほう』が読めます。(214～247号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。  
(広報委員会)



## 編集後記

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

2023年記念すべきインボイス元年、あけましておめでとうございます。本年もかいほうご最員に。

- ①インボイス対応で多忙
- ②電子取引対応で多忙
- ③TKC北海道会の会務で多忙
- ④札幌東支部の会務で多忙
- ⑤北海道税理士会の会務で多忙
- ⑥北海道税理士会札幌南支部の会務で多忙
- ⑦青色申告会の顧問税理士で多忙
- ⑧西岡商工振興会の会務で多忙
- ⑨新規顧客の初期指導で多忙
- ⑩もちろん既存の関与先の対応で多忙

ほか何かあったっけ。あつ、50周年記念誌。私の50周年はまだ終わっていません。心をなくさないように、健康に気を付けて。

新規の見込み客と面談して、明確な不満をもっている場合は対処しやすい。全然訪問してくれない。自計化の手伝いをしてくれない。原価台帳を作りたい。自社株の評価をしてくれないなどと。厄介なのは、記帳代行がはまっちゃっているところ。書類を郵送する⇒きれいに書類を整理する⇒入力する⇒たまたに試算表をもってやってくる⇒たまたに数字の話をする(いやいや、現金主義の試算表でどうするの)。税務調査もない(赤字だもんな)。これでどうするの(貸したお金は返してもらいたい。銀行にも借り入れあるよね)。来期は利益出るから、お金返してもらいたい(銀行の返さなくちゃね)。

これ、どうしましょう。

(広報委員長 坂本 文彦)